



大谷地だより

Vol.61

発行
北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 松倉 千春
編集責任者 事務局 編集委員
印刷 北海道リハビリ

同窓会総会・懇親会開催

絆ではじまる同窓会活動

去る十月十七日、大学同窓会と短大同窓会が統合後、初めての開催となる北星学園大学同窓会総会・懇親会が、ホテルオークラ札幌を会場に開催されました。



大友 学園長

当日は、午後五時三十分から三階チエールシールにおいて定期総会が行われ、松倉千春会長による開会の挨拶の後、議長に中村一寛さん（一九七一年経済学科卒）、書記に高橋章さん（一九九六年経済学科卒）を選出し、次の三議案について協議されました。



金井 学長

議案一『二〇〇八年度活動報告・会計決算報告及び会計監査報告について』は、それぞれの担当者から説明・報告がなされ、提案どおり了承されました。

議案二『二〇〇九年度活動計画・会計予算について』は、原案どおり了承されました。

議案三『役員の変更について』は、原案どおり了承され、



招待教員 土橋 先生

副会長には幹事の阿知良俊一さん（一九七〇年社会福祉学科卒）が新たに就任されました。

総会終了後、二階フォントイースに会場を移して懇親会が開催されました。司会の中嶋あゆみさん（二〇〇八年心理・応用コミュニケーション学科卒）による進行のもと、まず、大学の草島豊チャプレンによる開会礼拝が行われました。聖書、讃美歌のあと、チャプレンによる奨励（大学では、開学以来、礼拝が行われていました。現在はチャペルタイムとして、平日の十二時



招待教員 熊谷 先生

十分から三十分まで行われています。）が行われました。学生時代の一ページを思い出された方も多いのではないのでしょうか。その後、松倉千春



乾杯！ 澤田 副学長

会長、大友浩学園長、金井新二学長の挨拶、澤田裕副学長の乾杯で宴を開始しました。招待教員として、大学から土橋信男先生、短大から熊谷孝美先生、退職された教員の石川恒夫先生がご出席くださいました。また、現職の教職員



奨励生5名

懇親会の中では、懐かしい招待の先生によるご挨拶の後、今年度の同窓会表彰授与が行われ、同窓会活動に長く寄与された三田前副会長、小

新入会員の方々へ

卒業おめでとう

—こんな時代だからこそ自分の行動に責任を持つて—

同窓会長 松倉 千春



メッセージを送りました。メッセンジャーをいただきました。よもや今年卒業される皆さんが、昨年も増して厳しい環境の中で卒業を迎え、実社会へ船出することになるとは思いもしませんでした。

従って、今年も昨年と同様に皆さんの卒業をお祝いするとともに、先輩としての経験から実社会で学んだ教訓を、皆さんに語りつつ奨励のメッセージにしたいと思います。

私の在学時は大学の進路指導の体制は殆ど整っていませんでした。進路の選択は全て自力で行わなければなりませんでした。現在の大学の進路指導は、当時とは比較にならない程充実したプログラムになっていると聞いています。

毎年この時期「大谷地だより」に卒業生を祝うメッセージを寄稿しています。が、昨年の卒業生の皆さんへは「大変厳しい社会的環境の中で、焦らず牛の歩みのように着実に一歩ずつ前進して欲しい」と激励の

生から北星学園大学オリジナルワイン作成・販売のご紹介、北海道高等専門学校教諭の吉田重子さんから「点字からはじまるメッセンジャー」出版のご紹介もありました。和やかな雰囲気の中、榎渡喜久雄帯広支部長による乾杯が行われ、盛会のうちに今年度の懇親会を終了することができました。懇親会終了後は、同会場に設けた二次会へ三十名近くの同窓生がご出席されました。今年度も同窓生の皆様を

はじめ、関係者の方々の温かいご支援のもと、無事に総会・懇親会を終了できましたことをご心より感謝申し上げます。次回の総会・懇親会は、今年十月十六日（土）に開催する予定です（今年の大谷地だより九月一日号、大学ホームページでお知らせします）。是非ご出席くださり、懐古と展望のひと時をお過ごしください。お待ちしております。多くの同窓生のご参加を心よりお待ちしております。

皆さんもそのような術を学んだと確信します。自信を持って前進して下さい。さて、同窓会の活動は、会員相互の交流と親睦、各支部活動への支援、各種情報提供など会の活性化を目指す活動に加えて、母校への支援活動、広く市民を含めた文化活動など多岐に渡っておりますが、同窓会活動を一層活性化させるためには、皆さんが同窓会に結果することが最も大切なことです。特に卒業生は、少子化の進行など、より厳しい環境の中にある母校を支える力にならなくてはなりません。また、同窓会には七つの支部（支部名、支部長名は別記参照）があります。皆さんの職場や地域など身近な所にも同窓生がいると思いますので、大いに先輩を頼りにして下さい。そして、共に同窓会に結集し、母校を支える力となりましょう。新会員の皆さんが同窓会活動に積極的に参画し、同窓会と母校の発展に寄与されることを期待します。卒業おめでとう。

就職状況に関するご報告とお願い

松本康一郎

連日つづく就職相談

対象にして毎週水曜日の三講目に開講される「キャリアデザインプログラム」と、②職員による個別指導・相談です。これらの取組みは道内でも珍しい徹底した指導と言ってよいと思います。①には、毎回六〇〇名以上の学生が参加し、②では、キャリアカウンセラーが一人一人の学生に

とが必要と考えました。このために、今年度下期より、求人開拓のための臨時職員一名を配置し、毎日企業回りをしております。正直なところ、今年度の求人増はなかなか期待薄ではあります。しかし、



セラリー二名と専任職員六名が、エントリーシートの添削や面接練習さらには求人案内や個別相談に対応しております。学生たちは初めて体験する就職活動のなかで、大きな試練に出合います。センターでは、ときに心が折れそうに

既に就職活動を開始している学部三年生と短大部一年生にとりましては、一社でも多くの求人数の獲得に繋がるものと信じております。

センターでは、就職希望の学生たちに対して、道内企業や名の知れた企業にこだわる

者数を誇る就職ガイダンス

なる学生に寄り添って対応していますので、センターへのリピーターも多くなっております。全国的には、大学担当部署に來課する学生は激減しており、本学のようにいつも多くの学生が訪れるのは珍しいのが現状です。

職活動を行うよう、指導しております。同窓会の皆様におかれましては、とりわけ求人について、一件でも多くの情報を中心にお寄せいただくことが幸いに存じます。また、上記でご案内しました求人開拓の職員が御訪問しました際には、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

三七七一(直通)

2009年10月17日の総会において承認された決算及び予算は、下記のとおりです。

2008年度 収支決算書

費 目	予 算	決 算	備 考
【収入の部】			
前 年 度 繰 越 金	14,178,199	14,178,199	預金(14,170,855)、現金(7,344)
同 窓 会 費	18,400,000	19,540,000	@20,000*983名
総会懇親会費収入	220,000	249,000	@3,000*64名@1,000*57名
プ ロ ジ ェ ク ト	50,000	83,475	コンサート・講演会等募金
利 息 等	30,000	51,659	定期預金利息
雑 収 入	0	1,323,641	ご祝儀、懇親会二次会会費、短大同窓会から資金繰入金
＜収入計＞	32,878,199	35,425,974	
【支出の部】			
I. 事 務 費	3,900,000	6,255,722	
1. 会 議 費	550,000	571,439	支部長会議、幹事会 他
2. 交 通 費	2,500,000	3,759,035	幹事会、総会支部招待・支部派遣 他
3. 通 信 費	150,000	212,910	振込計、ハガキ・切手、慶弔電報
4. 物 品 費	200,000	196,253	懇親会写真焼増代(64,350)事務消耗品 他
5. 印 刷 費	500,000	176,085	同窓会案内作成 他
6. 雑 費	0	1,340,000	同窓会会費返還 67名分 (@20,000*67名)
II. 事 業 費	16,400,000	14,707,001	
1. 名簿作成費	0	0	卒業生住所録
2. 行 事 費	5,000,000	4,350,028	卒業生記念品(779,625)、懇親会(2,318,553)、統合記念祝賀会(1,021,140) 他
3. 同窓会文庫費	400,000	400,000	寄贈図書
4. 補 助 費	4,000,000	4,239,900	各支部補助(3,804,000)、英研・福祉・大学祭補助(400,000) 他
5. 奨 励 費	1,000,000	250,000	@50,000円*5名
6. 会報発行費	3,500,000	4,399,454	大谷地だより59号、60号印刷代・郵送料 他
7. 業務委託費	1,000,000	21,000	懇親会司会者謝礼
8. 部 外 活 動 費	1,500,000	1,046,619	講師謝礼、交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
III. 予 備 費	2,578,199	0	
IV. 資 金 構 立 金	10,000,000	10,000,000	
V. 次年度繰越金	0	4,463,251	預金(4,418,856)、現金(44,395)
＜支出計＞	32,878,199	35,425,974	

2008年度 貸借対照表
【通常会計】 2009年9月30日現在

借 方		貸 方	
資産の部		負債・正味財産の部	
現金預金	4,418,856	正 味 財 産	4,418,856
	4,418,856	次年度繰越金	4,418,856

【活動資金積立会計】

借 方		貸 方	
定期預金	55,474,244	次年度繰越金	55,474,244
	55,474,244		55,474,244

2009年度 会計予算

費 目	予 算	備 考
【収入の部】		
前年度繰越金	4,463,251	預金(4,418,856)・現金(44,395)
同 窓 会 費	27,005,000	@20,000*1,171名 + @15,000*239名
総会懇親会費収入	315,000	@3,000*80名 @1,000*75名
プロジェクト	50,000	コンサート・講演会等募金 50,000
利 息 等	50,000	定期預金利息
雑 収 入	0	
＜収入計＞	31,883,251	
【支出の部】		
I. 事 務 費	5,100,000	
1. 会 議 費	550,000	支部長会議(140,000)・幹事会(120,000)・役員打合せ(200,000)他
2. 交 通 費	4,000,000	幹事会等(300,000)・総会等派遣:本部(1,600,000)支部(900,000)・支部長会議(580,000)他
3. 通 信 費	150,000	振込料(30,000)・ハガキ・切手(60,000)・慶弔電報(30,000)他
4. 物 品 費	200,000	事務消耗品、懇親会写真焼増代 他
5. 印 刷 費	200,000	同窓会案内作成 他
II. 事 業 費	17,410,000	
1. 名簿作成費	0	2004年度以降当面凍結(同窓会年度)
2. 行 事 費	5,000,000	卒業生記念品(1,000,000)・懇親会(3,300,000)・退職者記念品(250,000)・永年表彰金品(100,000)・奨励生への集い(100,000)他
3. 同窓会文庫費	400,000	寄贈文庫
4. 補 助 費	4,340,000	各支部補助等(3,840,000)・英研・福祉・学祭(400,000) 他
5. 奨 励 費	200,000	@50,000*4名
6. 会報発行費	5,400,000	印刷代(1,000,000)・郵送料(3,000,000)・封入作業・封筒作成(1,400,000)
7. 業務委託費	70,000	名簿整備、懇親会司会者謝礼 他
8. プロジェ活動費	1,500,000	講師謝礼・交通費・消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
9. 寄 附	500,000	北星学園創立100周年記念館
III. 予 備 費	5,373,251	
IV. 資金積立金	4,000,000	
V. 次年度繰越金	0	
＜支出計＞	31,883,251	

北星学園創立百周年記念館への寄附について

学校法人北星学園は、創立者サラ・Ｃ・スミス先生による「スミス女学校」が一八八七年に開設されてから、現在一三三年の歴史を数えます。北星学園創立百周年記念館は、米国からの女性宣教師の住居として、一九二六（大正十五）年十二月に完成されました。最初

してオープンし、創立当時から史料が展示され、二階には大学と短大の資料室があります。現在のグリーンの屋根や芥子（からし）色の壁は、建築当時と同じ色です。また、記念館は、過年度には「札幌市ふるさと文化百選」、「札幌市都市景観賞」に選定され、現在、

国の「登録有形文化財」にも指定されています。寄附を通じて、北星のシンボルである「記念館」の維持改修に、微力ながら支援していきたいと思っています。なお、開館期間は四月から十月（月・水・金の午後）ですので、是非、足をお運びください。



百周年記念館

[illegible]

北星学園大学同窓会 役員名簿

任期二〇〇九年十月一日～二〇一一年九月三十日

支部だより

雑感

旭川支部
支部長代理
上杉 信一

現在、我が家には、小さい体をし、大きい顔をして家中をいそがしく走り回っている怪獣ミクリンが居る。それは私の初孫で我娘の長女で名前をミクという二才七ヶ月になる孫であり、婿の仕事の関係で七ヶ月程面倒を見ている目の中に入れても痛くない存在である。

子供は誉めて育てるものと教育雑誌等で書かれています。が、私の友人で教師歴四十年になり、最後は校長で退職し、現在は教育大学の講師をしている彼女の出版した小冊子があり、その様々な教育体験の話の中で私が特に興味をもったのは、ある子供の例であるが、それは、いわゆるいい子でない一般的に言えば、わんぱくばんずの典型のような子であるが、その子の心の中には他の子にはないエネルギーが燃えだぎ、やるべきことがやんちゃで人並はずれていたそうであるが、ある時絵を描く機会があり、その時も彼は先生の話を全く聞かず、自分の世界で絵を描いたようであるが、彼女はこうして入選なんかしないだろうと出展した所、その絵がみごと市長賞を獲り、その後、知事賞



10月3日金井学長を迎えて支部懇親会

までも獲得したそうである。私がここで思うのは、自分の一人よがりな大事な個性をぶつけてしまふ教育の難しさを思うことであり、自分の狭い尺度から物事を把握してはいけないということ強く思い、教育とはなんと奥の深く、いかに難しいものであるかと

帯広支部 同窓会とお馬さん

支部長
樋渡喜久雄

九月十二日、帯広支部総会及び懇親会がオープンした。この「駅前」リッチモンドホテルで開催されました。これに先立ち、松倉会長・高谷副会長・斉藤副会長等の役員と帯広支部のギャンブル好きが昨年に引き続き「帯広競馬場」を訪れました。二つの協賛レース

北見支部 今年こそは 短大同窓生も

五十田 旬

平成二十一年九月五日総会並びに支部懇親会を開催。総勢三十七名（大学同窓会役員等を含む）と近年にない大人数の楽しい時間を過ごすことができました。今回から、短大支部との合同開催となりましたが、残念ながら短大同窓生の方々の出席はありませんでした。一方、北見支部発

東京支部 統合実感!!

支部長
相馬 洋司

一九八八年に設立された東京支部は二十二年目を迎えました。十周年記念、十五周年記念、二十周年記念と節目の記念行事を終え、今年は、短大同窓会との統合による、新しい出発の総会・懇親会を、さる十月二十四日に開催し、約五十名の方が出席され、今回からは短大同窓会の開催方式を一

部取り入れるなどして進行さ

いうことを心から思うものである。我孫も出来れば個性豊かに、のびのび育って欲しいものである。最後に、この孫が十五、六年程で大学を受験する頃、我が母校である北星学園大学を受験し、祖父と孫が北星学園大学の同窓となることを願う、その夢をかなえさせて欲しいものである。



帯広競馬場を訪ねて

函館支部 原点にかえって

支部長
畑中 博史

二〇〇九年の函館支部の総会・懇親会は八月二十九日に同窓会との統合後、各支部に先立って開催し、同窓生十四名（内短期大学部六名）、同窓会本部より松倉会長、斉藤副会長、阿知良幹事の三名、そして大学より金井学長をはじめ十名の教職員の皆さんの参加

釧路支部 地域に生きる 同窓会に

支部長
櫛部 武俊

九月十三日、二十一年目を迎える同窓会釧路支部の総会と懇親会が釧路全日空ホテルで行われました。多数の会員が、というわけにはいきませんが、いつも三十名ぐらいの方が駆けつけてくれます。しかも、おそらくどの支部よりも（これは自慢です！）若い同窓生が来る！。しかも『女性が多く来る！』。だから華やぐ、なので又来たい！（期待）オジサン系の男性同窓生もツイツイウキウキしてしまふ。だって職場じゃ話してもくれないんです若い方は（涙）。ところが同窓会では、今後の運営方法を見直さなければならぬ時期にきているのかと思っております。同窓生はやっぱりいいわ！...と好循環で釧路支部は回っています。北星学園大学という看板を背負って仕事をしているわけでも生活をしているわけでもありませんが、同窓生一



華やかウキウキ懇親会

で楽しい時間を過ごしました。今年も短期大学部と統合したので、特に懇親会をどのように開催するか役員会で何回か会議を開き、検討しました。その結果、短期大学の伝統を残し礼拝をし、讃美歌を歌うことにしました。これまで四年制の同窓会も「北星大学の原点はキリスト教であることを再認識し、我々もその原点にかえり、やっていこう」ということになり、当日を迎えました。当日は、これまでも同窓会に出席していた同窓生、初めて出席した同窓生も最初はちよつと戸惑った様子でしたが、皆さんにそれなりに受け入れてもらいホッとしました。懇親会では各先生と同窓生が楽しく懇談し、最後はビン

千歳支部 若さみなぎる

支部長
二ツ川憲昭

千歳支部は、同窓会七支部のうちの一番新しい支部として、市役所や福祉施設及び（株）北海道空港などに勤務する同窓生が中心となり平成八年五月に設立されました。当支部は、支部設立前から同窓生の有志が集い、年一回は親睦会を開いていたこともあり、会員同士和気藹々で平均年齢も大変若く、楽しい親睦交流事業を続けております。（札幌から近いのに何故千歳に支部が？との疑問を持つ方もいらつしやいますが、当支部には、短大部も含めますと名簿上は、現在約九五〇名の会員が在籍または勤務しており、恵庭や苫小牧市などからも参加していただいております。）事業としては、定期総会懇親会のほか、毎年一回ボウリング大会などの事業を実施しておりますが、同じメンバーばかりでマンネリ化してきたことから、現在、事業内容の見直しを検討していると



全員集合 千歳支部

また、毎年七月に当市で開催されている「よさこい千歳トーナメント祭」（道内からよさこいチームが約四十チーム参加）に毎年参加している北星学園大学チームの激励と支援活動も続けております。残念ながら、我々の後輩チームはまだベスト四に残ったことはありませんが、十四年目を迎えた当支部は、短大部からの新会員をはじめ更なる会員の増強を図り、親睦の和を広げていくとともに、北星学園大学の支援活動を続けてまいります。なお、今年の支部総会・懇親会は、十二月四日（土）に開催する予定です。

2010年 支部総会・懇親会予定

旭川支部 9月 4日(土)
帯広支部 9月12日(日)
北見支部 9月 5日(日)
東京支部 11月 6日(土)
函館支部 8月28日(土)
釧路支部 9月11日(土)
千歳支部 12月 4日(土)

※時間・会場等は未定です。

同窓会各支部連絡先

札幌を離れる新会員の皆様、同窓会には各地に支部があります。ぜひ同窓会の活動にご参加ください。各支部への連絡先は次の通りです。

旭川支部(1983年発足)
支部長 松倉 千春
(0166)32-1726

帯広支部(1985年発足)
支部長 樋渡喜久雄
(0155)48-6938

北見支部(1987年発足)
支部長 佐々木 卓
連絡先は北見支部
結城 亨さんへ
(0157)31-1085

東京支部(1988年発足)
支部長 相馬 洋司
(03)3338-0628

函館支部(1988年発足)
支部長 畑中 博史
(0138)46-2537

釧路支部(1989年発足)
支部長 櫛部 武俊
釧路市役所生活福祉課
(0154)31-5231

千歳支部(1996年発足)
支部長 二ツ川憲昭
(0123)24-8242

◎同窓会事務局
北星学園大学
総務課内
小笠原、川島
(011)891-2731

チアダンス



文学部 英文学科
木村 君枝

夢と希望にあふれていた入学式を振り返ると、とても昔のことのようにも感じられる。反面、ごく最近のような気もする。大学生活はチアが全ての中心で、チアがあったからこそ私の大学生活に色があったのだと思う。チアダンスを始めたきっかけは本当に単純だ。先輩が持っていたキラキラ光るボンボンに憧れて入部した、その程度の軽いものだった。入部したときは、それが大学生活の柱になろうとは、思ってもみなかった。しかし、今ではチアリーダーとして過ごす時間が一番自分らしい時間だ。

夢は大空へ
努力は足元へ



経済学部 経済法学科
鳴海 真也

多くの「出会い」に恵まれた大学生活。
大学三年次に交換留学生として台湾へ一年間留学させていただきました。
この「台湾留学」は、私の二十三年間という人生の中で、かけがえない財産となる出来事だったと思います。日本で当たり前のように生活をする中で、気付かなかった多くの事。両親という存在の大きさ、言葉が通じない時の悔しさや辛さ、又通じた時の感動。さらに、種々様々な文化・価値観が存在し、それに順応していく柔軟さを学び、中国語という言語も習得することができました。
しかし、この台湾留学で最

心



社会福祉学部 福祉心理学科
野荒 貴大

人の心を理解できる人間になりたい。そんな思いを抱き、福祉心理学科に入学した。しかし、自分の価値観が正しく、自分の価値観に合わないものは良くないものと無意識的に考えていた自分もいた。だから、周りの友人から「頑固だな」と言われることが多々あった。このままではいけないと思い、少しずつだが、自分なりに周りの声を取り入れるようにしていった。そのようになつていったのも、私のことをいつも優しく、時に厳しく、励まして下さった硬



充実した
二年間の中身



短期大学部 生活創造学科
荒川 千波

私は、色々な分野を学べることに魅力を感じ北星学園大学短期大学部生活創造学科に入学しました。入学してからは、以前から興味があった福祉分野はもちろん、心理、経済、芸術、情報など多くの分野を学ぶことができました。

式野球部のある先輩のおかげである。先輩と出会ってから三年ほど経ったある時に、「お前、素直になつてきたよな。」と言っていたが、成長を実感することができた。
また高校の教育実習の際に、高校生の時にお世話になった先生から「表情が豊かになったな。」と言っていた。この四年間で自分の中では気付かない成長があったのだなと感じることができた。
実際のところ、まだまだ人の心を理解できる人間にはほど遠いところにいる。毎日の生活の中で、自分の心の狭さや思いやりのなさに気付かされることも多々ある。しかし、この四年間の出会いや経験により、私自身の心の理解ができるようになり、価値観が変化し、また以前よりも人の心を理解しようとする姿勢が身に付いていったことは確かだ。
理論と実践を繰り返して、得られたものをこれから社会に出てもっと育てていき、人の心を理解できる大人になりたい。

一つの分野にとらわれずに学習をできる環境が、私の視野を広げてくれました。
そして、短大入学と共に始まった就職活動の話。この二年間の一番の思い出は何かと聞かれたら私は就職活動と答えました。北星の就職支援課はとても熱心で、私の力になってくれました。面接に落ちた時にはすぐ落ち込みましたが、それも良い経験でした。多くの挫折が私を成長させてくれた気がします。辛いように思う就職活動も就職支援課の方や友人と一緒に頑張ることができたので、今では全部が良い思い出です。内定を頂き、改めて北星に来て本当に良かったと感じました。
この二年間は先生方や職員の方のおかげでも充実したものになりました。かけがえない友人もでき、多くの財産を貰ったような気持ちでいっぱいです。これから社会人となりますが、北星を卒業したことを誇りに新しい環境で頑張っていきたいと思っています。

退職される教職員から

ご挨拶



経済学部 教授
原 勲

早いもので今春北星学園大学を定年退職することになりました。私が本学に奉職したのは一九八九年四月で今年九二十年になります。それ以前の十年程非常勤で授業していましたから大学と私の職業上のお付き合いは三十年に及びましょう。木造造りでしたが黒光りする程丁寧に磨き上げられ、今A館B館に建て変わった旧校舎がなつかしく思い出されます。ここで私は北海道の大学では最初の「北海道経済論」を講義し、その後しばらくして中小企業論、地方自治論、そして地域経済論を担当しました。出来るだけ北海道の実情にマッチした内容に取り組みできたつもりです。又学外の識者や実務家を講師に依頼し

「今の関心事」も解りましたので私にとっても大変勉強になりました。過去の未来などはありませんが、私も生涯一研究者として次なるテーマに挑戦出来る日々を迎えたいと思います。お世話になりました。心からお礼を申し上げてご挨拶と致します。

退職にあたって



経済学部 教授
高木 信夫

前の大学では、哺乳類染色体、特に雌雄間で数が違いながら働きは同等にする、X染色体の量補償という特殊な現象の研究に大学院生と共に熱中していました。そのような状況から一転、この大学では「生命科学」「自然科学論」「環境と人間」という広い分野の授業を受け持つことになりました。それまでの講義は遺伝学関連の比較的専門化したものばかりでしたので、準備範囲を劇的に拡大しなければならぬことになりました。講義には何をとり上げるべきか悩み、勉強を続けた六年間で、到底満足出来るレベルには至らず、受講してくれた皆さん

感謝をこめて



社会福祉学部 教授
大内 高雄

まず最初に、教育・研究や大学行政にも月足らずの者を専任教員として迎え下さり、十年もの月日を必要とてくださった大学と神様に心から感謝申し上げます。
思い返しますと、大学に採用された二〇〇〇年は、有珠山の噴火・介護保険制度のスタート、そして所属する福祉計画学科では、中川先生、根岸先生と私の三人が採用された年でした。そして、大学では一号館が解体され、A館が建設される時期でもありました。何か転換期のようなときでした。
さて、大学・社会福祉学部では、主に地域福祉の方法論であ

用いられたことの感謝



用務職員
大津 美智子

私は、一九八五年六月から大学の用務職員として働き始めました。久しぶりの就職で、北星学園がキリスト教主義の学園とあって、期待して仕事につきました。礼拝が守られ、校地も自然環境に恵まれ、このキャンパスで学ぶ学生達は幸せだなあと感じました。

日常の仕事は研究室等の清掃が中心でしたが、期末試験、入試などの教室準備復元、ゲストハウスの準備片付け、美装業者への業務連絡、まだまだ多くの事をしながら支える役割を担わせて戴いたと思います。学生さんとの接触は少ない方でした。今日迄学園は神の祝福の基に大きく発展しました。現体育館が建つ前は、あの場所にコクワの木が生えていて、木に登り採ったことは、ほのぼのとした思い出です。(今より)若い時は体育祭に下手でも参加したことも……。このように太らかに働かせて戴き感謝でいっぱいです。

